

お客様用

トヨタ純正

シートプロテクトカバー 取扱書

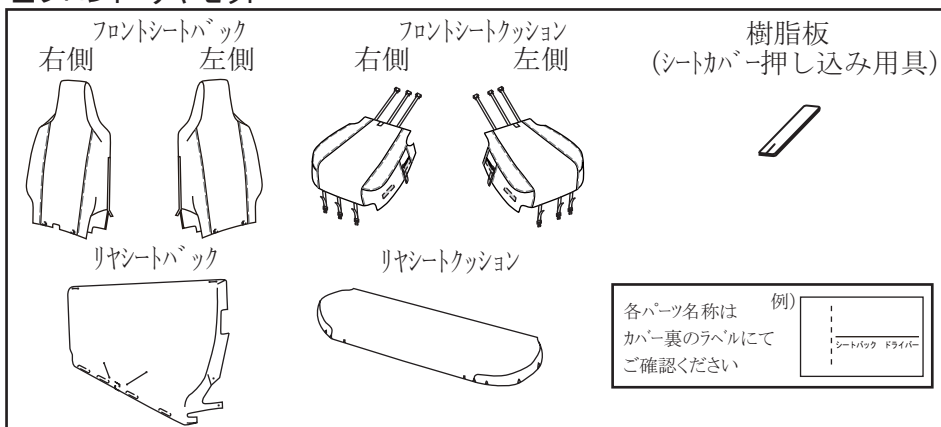
このたびはトヨタ純正「シートプロテクトカバー」をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しく
お使いください。
なお、本品を他のお客様にお譲りになる時は必ず樹脂板も併せてお渡しください。

品 番

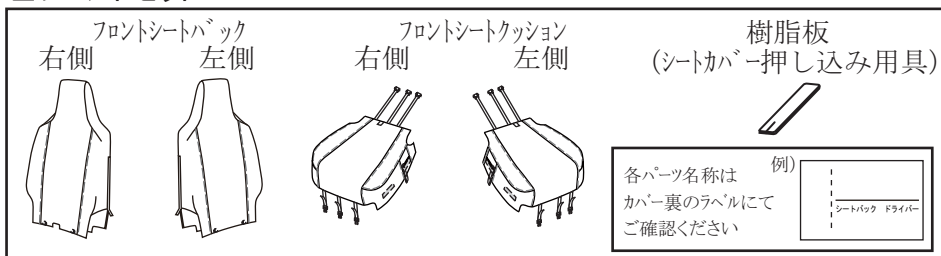
品 番	08220-52K30	フロント・リヤセット
	08220-52K40	フロントセット

構成部品

■フロント・リヤセット



■フロントセット



トヨタ自動車株式会社

取り付けに必要な工具等

・保護メガネ ・保護シート ・手袋 ・プラスドライバー ・リムーバー

取り付け上の注意事項

この取扱書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 注意

・・・ 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。

注意

・・・ 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。



アドバイス ・・・ スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⚠ 注意

- ・シートプロテクトカバーをつけたり、はずしたりするときは、シートの下に手をいれると、シートレールやシートフレーム(シートの土台部分)などに当たり、ケガをするおそれがありますので、手袋等を着用して十分に注意して作業を行ってください。
- ・シートやガーニッシュ等で手を挟まないよう、取り付けを行ってください。
- ・作業を開始する前に必ず保護メガネを着用してください。カバーや取付付属品の思わぬ跳ね返りなどにより、ケガをするおそれがあります。

注意

- ・シートプロテクトカバーの取り付け時にシートプロテクトカバーの付属等が可動部分(シートスライド、リクライニング機構等)に掛からないように注意してください。
- ・取り外した部品は傷付き防止の為、保護シートの上で作業を行ってください。



アドバイス

- ・車両シート形状に合わせて取り付けを行ってください。フィット性を考慮している形状のため、多少力を入れて装着していただく必要があります。
- ・シートプロテクトカバーの各パーツには、カバー裏面にパーツラベルが付いています。取り付け部位を間違えないように注意して取り付けてください。
- ・シートとガーニッシュの間など、手の入りにくい場所へカバーを押し込む際には、付属の樹脂板を使用してください。
- ・この取扱書は右側シートの作業要領を示しますが、特に記載のない限り左側シートも同様に作業を行ってください。
- ・シートプロテクトカバーの縫製ラインのねじれが気になる場合は、縫い代の倒し方向をそろえていただくと見栄えが向上します。

取り付け要領

【フロントシートの取り付け】

1. フロントシートクッションカバーの取り付け

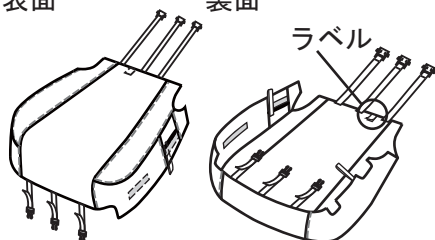
【形状図】

右側シート ラベルの記載
『シートクッション ドライバー』

表面

裏面

ラベル

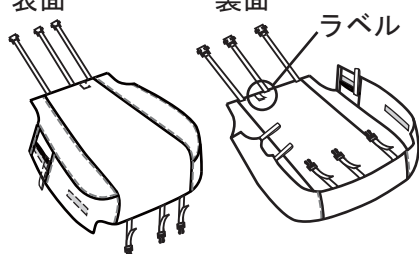


左側シート ラベルの記載
『シートクッション アシスタント』

表面

裏面

ラベル



アドバイス

- ・左図は右側シートの説明ですが、左側シートも同じ要領で取り付けてください。
- ・〈フロントシートクッション裏側図〉は分かり易いようにシートを外した状態を示しています。実際の作業はシートを外さずに行ってください。

■ 運転席のみ

- ①シートリフターでフロントシートクッションを一番上まで上げる。

■ 共通

- ②カバーを取り付ける前に、フロントシート後方からフロントクッション裏をのぞき込み、アンダーカバーのゴムバンドを取り外す。

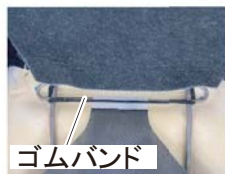
②アンダー
カバー

室内側
フロント



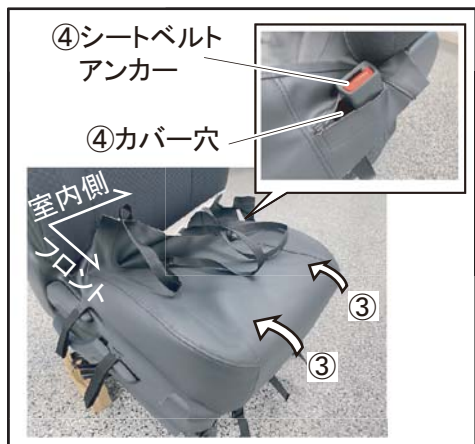
②ゴムバンド

〈フロントシートクッション裏側図〉



ゴムバンド





③ラベルを確認し、シート形状に合わせてフロントシートクッションの前側からカバーを被せる。

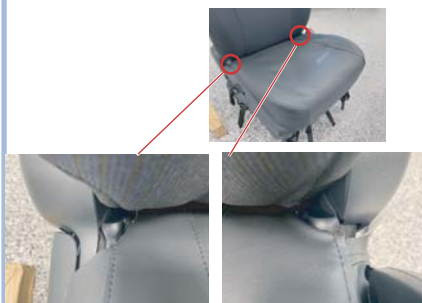
④室内側のカバー穴にシートベルトアンカーを通す。



⑤フロントシートバックとフロントシートクッションの間にカバーとバックル(3ヶ所)を押し込み、後ろへ引き出す。

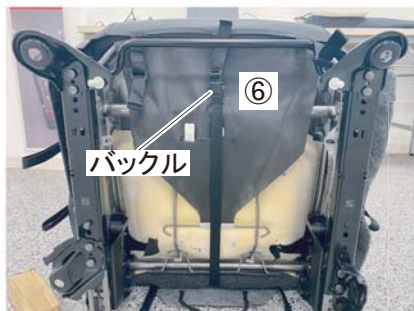
アドバイス

・カバーはシートクッション後ろ角部(下画像○部)のシート表皮が隠れるように形状を合わせながら、後ろに引き込んでください。



・引き込んだバックルは、シート下を通しシート前方に配置しておいてください。

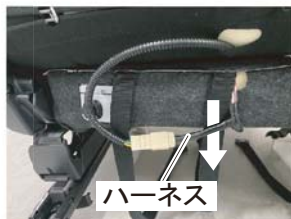
〈フロントシートクッション裏側図〉



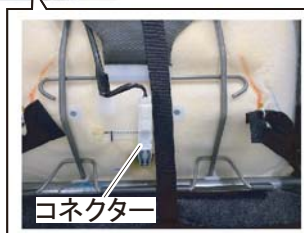
⑥中央の前後のバックル(1ヶ所)を嵌合し、ベルトを引いて締める。

注 意

- ・運転席シートヒーター付きのシートへ取り付けの際は、ベルトがヒーターのハーネスに掛からないようにしてください。



- ・助手席シートへ取り付けの際は、ベルトがコネクターに掛からないようにしてください。



アドバイス

ベルトは引き込める限界まで引き込んでください。余ったベルトは嵌合したバックルに絡めてください。中央のベルトを取り付けることでカバー全体の位置が決まります。



シートベルトアンカー穴



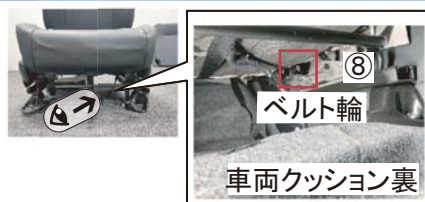
車両カバー



⑦室内側の車両シートベルトアンカー穴に、カバーのベルト輪(1ヶ所)を通す。

⑧車両カバーをめくり、ベルト輪(1ヶ所)をシートフレームの隙間から車両クッション裏側へ通し引き出す。

アドバイス



車両クッション裏は画像のように見えます。



クッション

ガーニッシュ

⑨付属の樹脂板を使用し、室外側のベルト輪(2ヶ所)をクッションとガーニッシュの隙間に通す。

アドバイス

ベルト輪先端に付属の樹脂板を押し当てた状態でクッションとガーニッシュの間にベルトを差し込むと作業がしやすいです。

樹脂板 クッション



ガーニッシュ

<ベルト輪通しイメージ図>

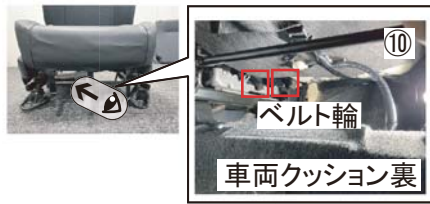


⑩差し込んだベルト輪(2ヶ所)はシートフレームの隙間から車両クッション裏側へ通し引き出す。



アドバイス

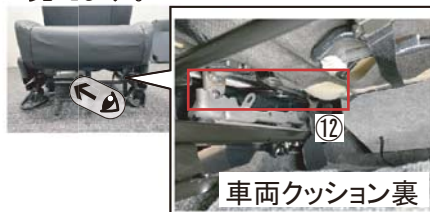
- ・〈ベルト輪通しイメージ図〉はベルト輪を通す位置を示すためガーニッシュが外れていますが、実際の作業は部品を外さずに行ってください。
- ・車両クッション裏は画像のように見えます。



- ⑪ 付属の樹脂板を使用し、カバーの生地をクッションとガーニッシュの間に差し込む。
- ⑫ 室外側後ろ側のベルトを、クッション裏に引き込んだベルト輪(2ヶ所)に通し、前側のバックルと嵌合してベルトを引いて締める。

アドバイス

- ・フロントシートクッション裏側図はベルト輪を通す位置を示すためシートが外れていますが、実際の作業はシートを外さずに行ってください。
- ・車両クッション裏は下画像のように見えます。



〈フロントシートクッション裏側図〉



前側のベルト

室内側
後ろ側の
ベルト



⑬輪に通す

室内側

- ⑬室内側後ろ側のベルトを、クッション裏に引き込んだベルト輪(1ヶ所)に通し、前側のバックルと嵌合してベルトを引いて締める。

注意

運転席シートヒーター付きシートにベルトを取り付ける際は、ベルトがヒーターのハーネスに掛からないようにしてください。



ハーネス

アドバイス

- ・フロントシートクッション裏側図はベルト輪を通す位置を示すためシートが外れていますが、実際の作業はシートを外さずに行ってください。
- ・車両クッション裏は下画像のように見えます。



⑬

車両クッション裏

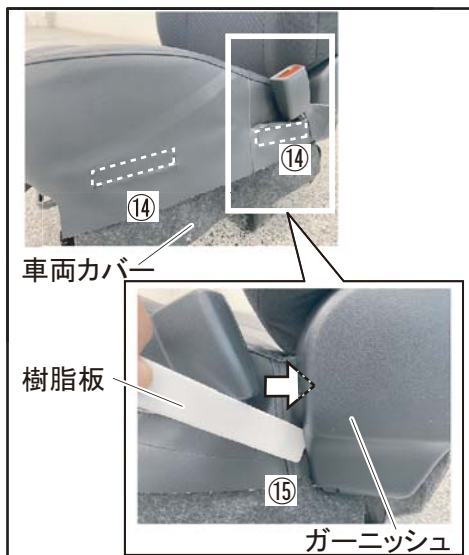
- ・室外側室内側のベルトは引き込める限界まで前方に引き込んでください。余ったベルトは嵌合したバックルに絡めてください。



ベルト

バックル





- ⑭室内側のマジックテープ(2ヶ所)から当て布を外し、車両カバーに貼り付ける。

■運転席のみ

- ⑮付属の樹脂板を使用して、室内側後端のカバーの生地をガーニッシュ内に差し込む。

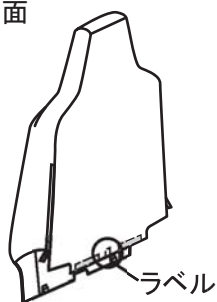
2. フロントシートバックカバーの取り付け

【形状図】

右側シート ラベルの記載
『シートバック ドライバー』

表面

背面



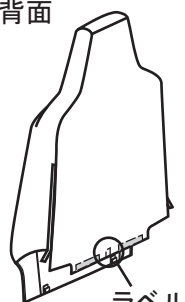
ラベル

※右側シート用は裾に切り欠きがあります

左側シート ラベルの記載
『シートバック アシスタント』

表面

背面



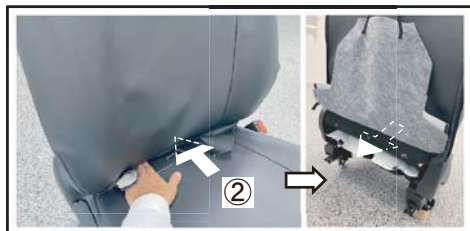
ラベル

👉 アドバイス

左図は右側シートの説明ですが、左側シートも同じ要領で取り付けてください。

- ①ラベルを確認し、カバーをフロントシートバックの形状に合わせて上から被せる。





- ②フロントシートバックとフロントシートクッションの間にカバーとJフック(2ヶ所)を押し込み、アンダーカバーをめくってカバーを後ろに引き出す。



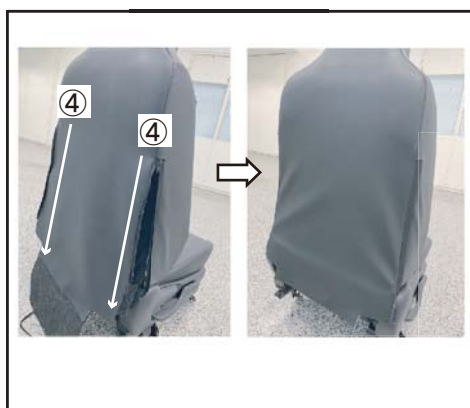
- ③カバーを引き込みながらJフック(2ヶ所)をシートフレームに引っ掛ける。

アドバイス

- ・フックは車両金属リングの内側に引っ掛けてください。



- ・Jフックは少し広げるとフレームにかけやすく広がります。



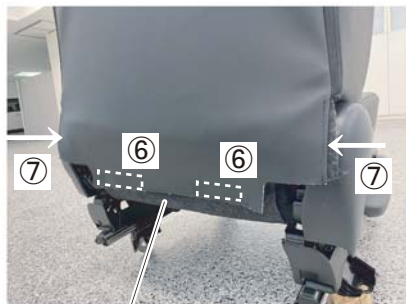
- ④室内側と室外側のファスナー(2ヶ所)を閉じる。

アドバイス

- 余ったファスナーの末端は、露出しないようにカバー内側に折り曲げてください。



- ⑤フロントシート後方からアンダーカバーのゴムバンドを復元する。



アンダーカバー

- ⑥カバーの当て布を外して、マジックテープ (2ヶ所) をアンダーカバーへ貼り付ける。

アドバイス

カバーを下方方向に引っ張りながら、背面のシワが軽減されるようにマジックテープを貼り付けてください。



下方方向に引っ張る

- ⑦アンダーカバーのサイド裾が見えないようにカバー内側に入れる。(2ヶ所)

アドバイス

下記手順で入れてください。



カバーをめくる



アンダーカバーを入れる

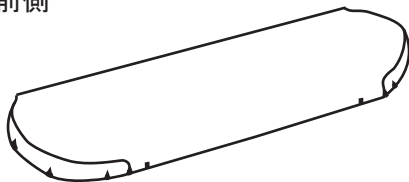
【リヤシートの取り付け】

1. リヤシートクッションカバーの取り付け

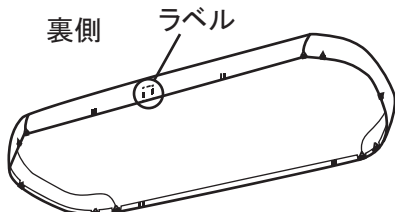
【形状図】

ラベルの記載
『リヤシートクッション』

前側



裏側





①ラベルを確認し、リヤシートクッション
後ろ側角部にカバーを被せる。

②リヤシートクッションとリヤシートバック
の間にカバーを入れ込みながら、
反対側のリヤシートクッション後ろ側
角部までカバーを被せる。



注 意

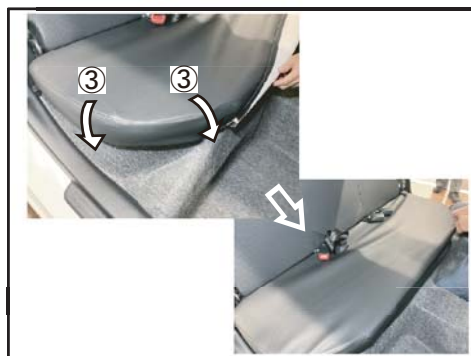
シートベルトをカバーで覆わない
ように注意して取り付けてください。

アドバイス

反対側の角部にカバーが届かない
場合は、カバーを引っ張りながら
被せてください。



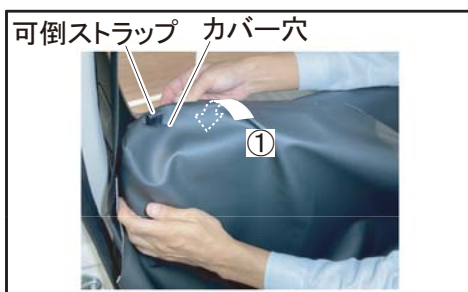
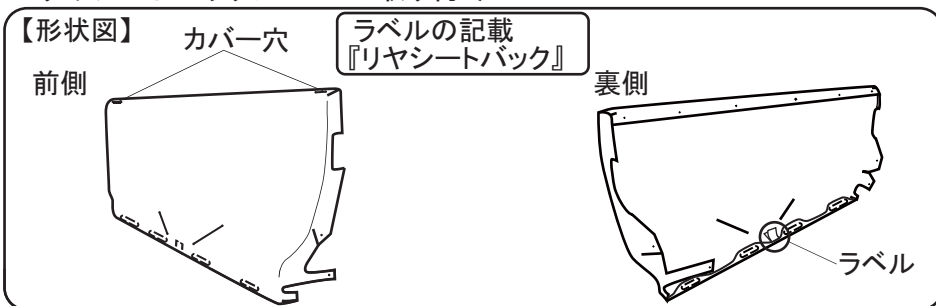
③リヤシートクッションの形状に合わ
せて、前側にカバーを被せる。



④リヤシートクッション全周、カバーを
リヤシートクッションとフロアカーペット
の間に入れ込む。



2.リヤシートバックカバーの取り付け

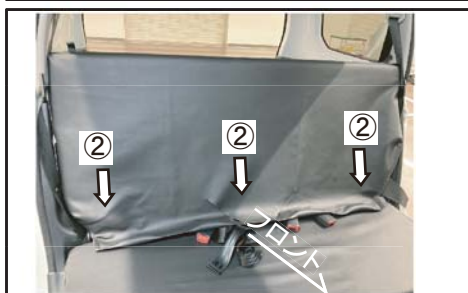


- ①ラベルを確認し、リヤシートバックの肩口にカバーを被せ、カバー穴に可倒ストラップを通す。



アドバイス

反対側も同じように肩口からカバーを被せてください。



- ②カバーをリヤシートバック全体に被せる。



- ③リヤシートバックを倒し、プラスドライバーを使用して背面のプレートを取り外す。(スクリュー6ヶ所)

注意

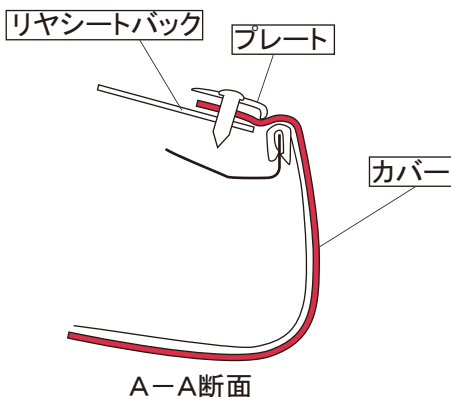
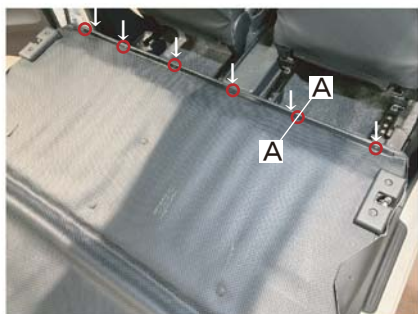
プレートが曲がったり破損したりしないように注意して作業をしてください。



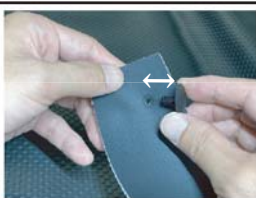
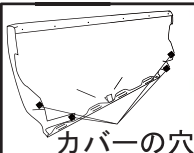
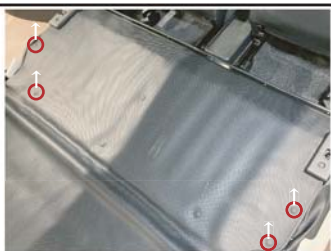
アドバイス

ラゲージカーペットのズレを防ぐため、リヤシートバックを倒してからプレートを外してください。

○スクリュー



○クリップ



- ④カバーを、リヤシートバックとプレート
の間に挟んでプレートを復元する。
(スクリュー6ヶ所)

👉 アドバイス

以下の手順で復元してください。

- 1) プレートのネジ穴にスクリュー
を通す。



- 2) 通したスクリューをカバーの穴に
差し込む。



- 3) シート本体ネジ穴とスクリュー位置
を合わせる。



- 4) スクリューを仮締め(2~3回転)する。



- 5) 1~4の手順でスクリュー(6ヶ所)
を取り付ける。

- 6) スクリュー(6ヶ所)を本締める。

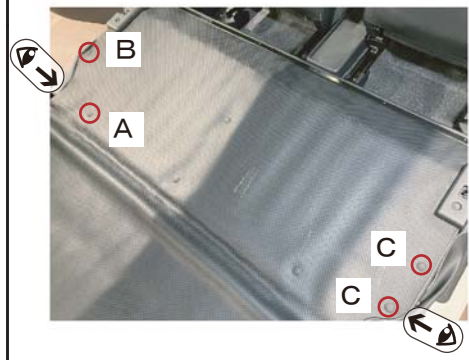
- ⑤リヤシートバックのクリップ(4ヶ所)を
リムーバーで取り外す。

- ⑥カバーの穴(4ヶ所)に外したクリップ
を一度差し込んで抜く。

👉 アドバイス

カバーの穴に外したクリップを一度
差し込むと穴が広がり、取り付け
しやすくなります。

○クリップ



⑦A→B→Cの順で、カバーをリヤシートバックとラゲージカーペットの間に挟んでクリップで固定する。

アドバイス

・A は以下の手順で作業をしてください。

1)ラゲージカーペットの穴にクリップを通す。



2)カーペットをめくりカバーの穴にクリップを通す。



3)シート本体の穴と位置を合わせ、クリップを差し込む。



・B と Cは以下の手順で作業をしてください。

1)ラゲージカーペットの穴にクリップを通す。



2)カーペットをめくり、カバーとシート本体の穴の位置を合わせる。



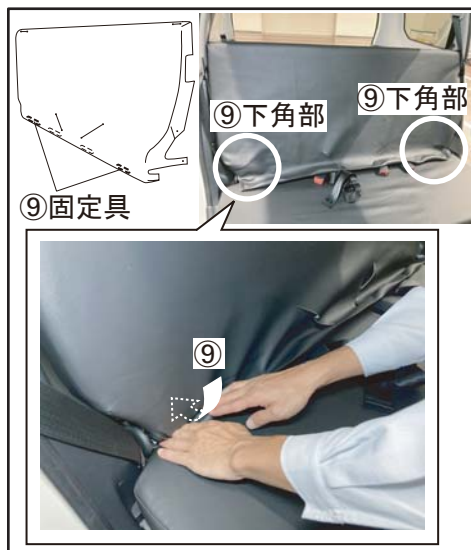
3)クリップを差し込む。



注意

カバーはラゲージ表面に露出しないように、シートとラゲージカーペットの間に挟んで装着してください。ラゲージへの荷物の出し入れ等により、クリップやカバーの破損に繋がります。



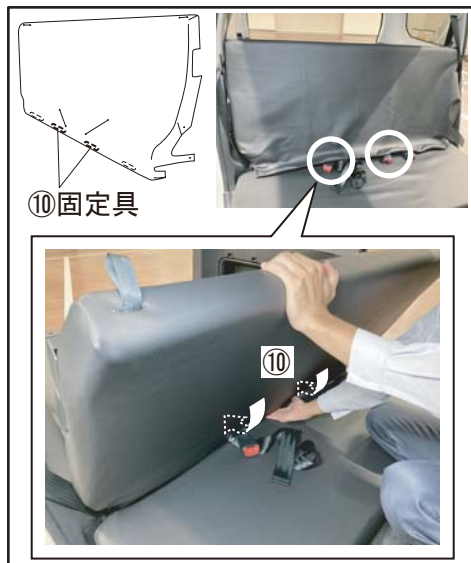


⑧リヤシートバックを引き起こす。

⑨シートの下角部の形状に合わせてカバーを被せ、カバーの固定具(2ヶ所)をリヤシートバックとリヤシートクッションの間に差し込む。

アドバイス

反対側も同じようにカバーを被せて固定具を差し込んでください。



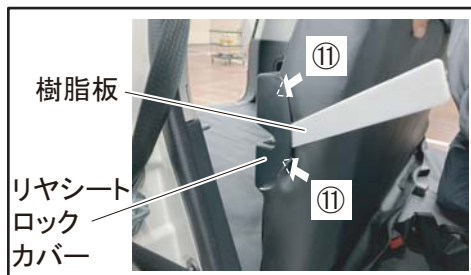
⑩中央の固定具(2ヶ所)をリヤシートバックとリヤシートクッションの間に差し込む。

注意

シートベルトをカバーで覆わないように注意して取り付けてください。

アドバイス

リヤシートバックとリヤシートクッションの間は隙間が狭いため、固定具はリヤシートバックを前方に傾けた状態で奥まで差し込んでください。



⑪付属の樹脂板を使用して、リヤシートロックカバーとシートの間にカバーを差し込んで、リヤシートバックを起こす。

注意

リヤシートバックが確実にロック(固定)されることを確認してください。

アドバイス

反対側も同じようにカバーを差し込んでください。

取り付け完了後の確認

1. シートカバーの付属等が可動部分(シートスライド、リクライニング機構等)に掛かっていないか確認してください。
2. シートを可動させ車両機能に異常がないか確認してください。

アドバイス

アイロン
低温(約80℃～120℃)



当て布

梱包や保管状態によっては車両取り付け後でも部分的に折れシワが目立つ場合があります。その場合は、ご家庭用のアイロンを低温(約80℃～120℃)で任意の当て布をしながらシートプロテクトカバーの表面に当てることで目立ちにくくすることができます。

(アイロンをする際は、シートプロテクトカバーの表面や周辺の車両部品を焦がさないように、必ず当て布をして直接アイロンを接触させないように注意してください。)

また、アイロンを当てすぎるとシートプロテクトカバーの表面にテカリができることがあるため、細目に表面を確認しながら実施ください。)

取り扱い上の注意事項

注 意

シートプロテクトカバーの取り扱いについて

- ・揮発性の溶剤(シンナーやアルコール)に触れると表皮が劣化するおそれがあります。もし触れることがあればすぐに拭き取ってください。
- ・シートプロテクトカバーに火気を近づけたり、刃物等の先のとがったものを当てたりしないでください。シートプロテクトカバーに穴があいたり、破損の原因となります。
- ・シートプロテクトカバーには防水/撥水機能はありませんので、水気を含んだ汚れが付着した場合、速やかに乾いた布等で拭き取ってください。

アドバイス

- ・洗濯機を使用しないでください。洗う場合は液温40℃以下で中性洗剤を使用して手洗いし、日陰でよく乾かしてご使用ください。
- ・多少の汚れは、布等で拭き取ってください。
汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落としてください。
- ・取り外す際は、取り付けと逆の手順にて取り外してください。
- ・取り外す際にシートプロテクトカバーを無理にひっぱるなどして縫い目を傷つけないようにしてください。
- ・フロントシートクッション可動等で、カバーの固定用ベルトが露出した場合は、クッション裏のバックルに絡めてください。



フロントシート
クッション

バックル



ベルトを絡める

